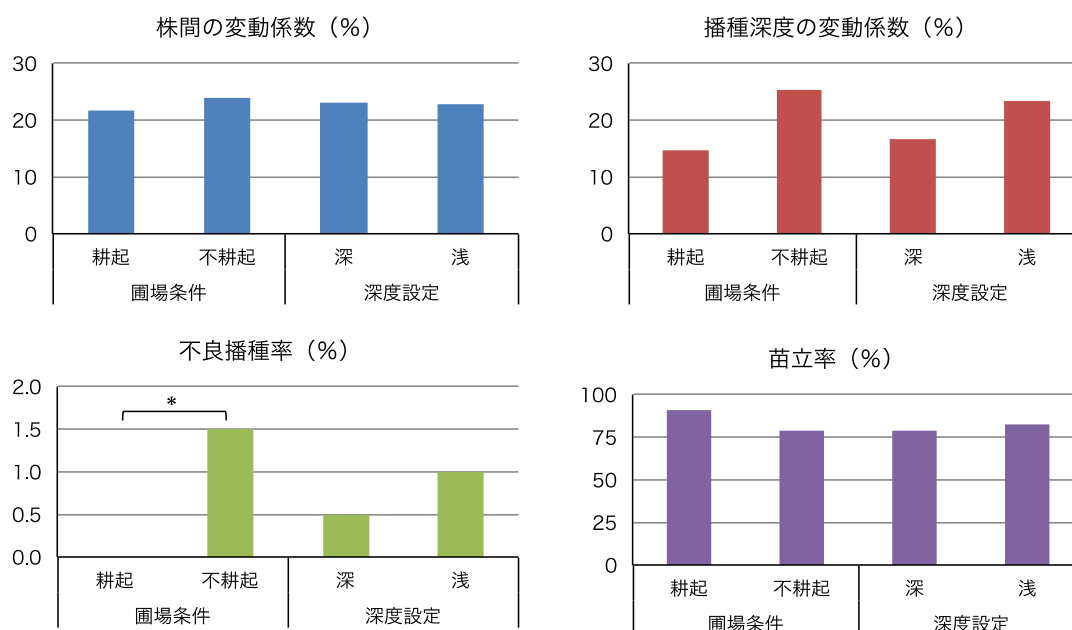


新開発不耕起対応トウモロコシ用 播種機の性能

新開発不耕起対応トウモロコシ用播種機（アグリテクノ矢崎製NTP-2）は、耕起および不耕起の両方の条件での利用が可能であり、不耕起播種における10aあたりの作業効率および消費燃料は9.4分および0.41Lである。不耕起播種では茎葉処理剤を利用することにより雑草防除が可能である。



圃場条件および播種深度設定の違いによる播種精度の差

不耕起圃場では、不良播種率が高くなるが、株間、播種深度、苗立率は耕起圃場と変わらない

不耕起播種の作業効率

前作	試験年	圃場面積 (a)	作業速度 (m/s)	作業効率 (分/10a)	消費燃料 (L/10a)
イタリアン	2015	44	1.8	9.8	0.42
ライグラス	2016	145	1.6	7.5	0.27
	平均	95	1.7	8.7	0.35
トウモロコシ	2015	67	1.8	10.2	0.34
	2016	67	1.3	11.4	0.42
	2016	45	1.2	8.1	0.58
	平均	60	1.4	9.9	0.45
平均		74	1.5	9.4	0.41

作業効率は9.4分/10a

収穫時の雑草発生状況（イタリアンライグラス跡）

	耕起区	不耕起1区	不耕起2区
播種	6/11	6/11	6/17
前処理	6/13 (ラウド アップ)	6/13 (ラウド アップ)	6/15 (ラウド アップ)
土壌処理	—	—	—
茎葉処理	6/29 (ワホーブ・バ サグ ラン)	6/29 (ワホーブ・バ サグ ラン)	7/11 (アルファード)
9/24 植生調査			
植被率	6%	6%	14%
出現草種	メヒシバ	メヒシバ キハマスグ	キハマスグ

茎葉処理剤の利用で雑草の発生はみられない